

	ウチエのシャワー車椅子
	くるくるチェアD
	ウチエのシャワー車椅子
	くるくるチェアDSAL
	ウチエのシャワー車椅子
	くるくるチェアⅡSAL
	ウチエのシャワーベンチ
	くるくるベンチD

取扱説明書

くるくるチェアD

品番:KRU-172(O型シート)
KRU-173(穴無しシート)
KRU-174(U型シート)

くるくるベンチD

品番:KRU-315(O型シート)
KRU-316(穴無しシート)
KRU-317(U型シート)

くるくるチェアDSAL

品番:KRU172SAL(O型シート)
KRU173SAL(穴無しシート)
KRU174SAL(U型シート)

くるくるチェアⅡSAL

品番:KRU186(O型シート)
KRU187(穴無しシート)
KRU188(U型シート)

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』『くるくるベンチD』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

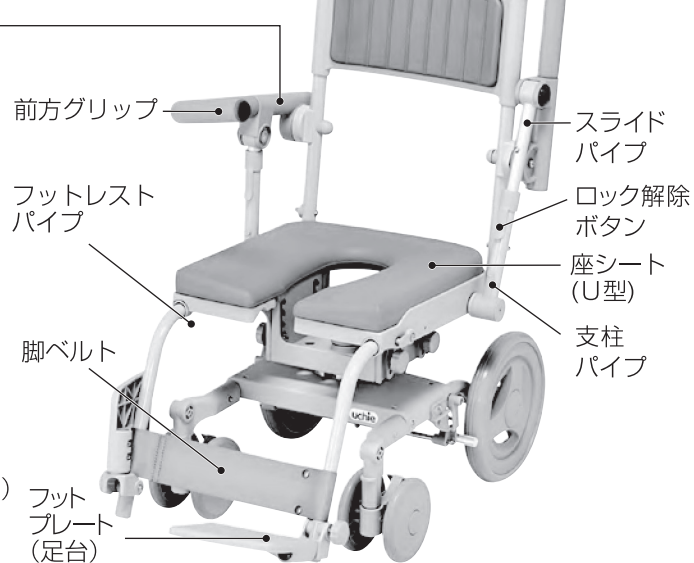
- ・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
- ・お買い上げのシャワー車椅子、シャワーベンチは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

くるくるチェアD



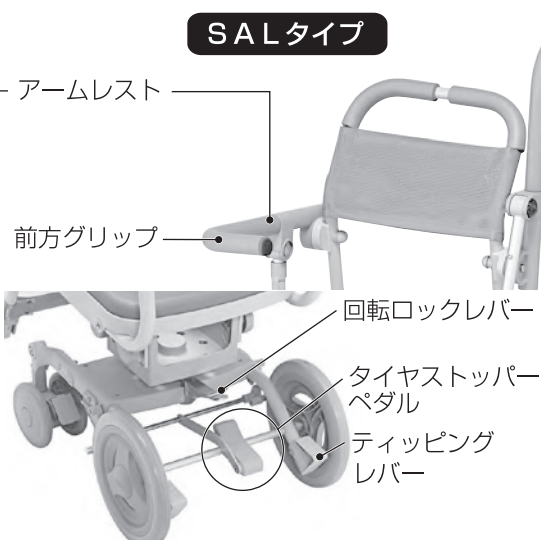
くるくるチェアⅡSAL



くるくるベンチD



SALタイプ



くるくるチェアDSAL



アルミ取付板 穴無しシート
穴無しシート(ウレタン+取付板)

付属品 ・取扱説明書(本書)
・ドライバー(#3)

仕様

	くるくるチェアD	くるくるチェアDSAL	くるくるチェアⅡSAL	くるくるベンチD
材 質	本体	アルミニウム合金、アルミダイカスト成形品、ステンレス、合成樹脂成形品		
	シート	ナイロンメッシュ(背)、EVA(座)		ナイロンメッシュ(背)、EVA(座)
	ハンドル	合成ゴム、PVC(クッション)		合成ゴム、PVC(クッション)
	アームレスト、前方グリップ	合成ゴム、PVC(クッション)		
	アジャスター	-		合成ゴム
重 量	約13 kg	約14 kg	約15 kg	約9 kg
車 輪	前輪/5 インチ ・ 後輪/10 インチ			-

サイズ

単位: cm ※ () は短奥行仕様時

	くるくるチェアD			くるくるチェアDSAL			くるくるチェアⅡSAL			くるくるベンチD		
	KRU-172	KRU-173	KRU-174	KRU172SAL	KRU173SAL	KRU174SAL	KRU186	KRU187	KRU188	KRU-315	KRU-316	KRU-317
幅	47			50.5			50.5			47		
奥 行	85 (70)						95 (78.5)			59		
奥 行 (フットレストなし)	57.5						65			-		
高 さ (2刻み、5段階)	86~94						87~95			84.5~92.5		
前座高	42~50	41~49	40.5~48.5	42~50	41~49	40.5~48.5	42.5~50.5	41.5~49.5	41~49	40~48	39~47	38.5~46.5
後座高				40~48						38.5~46.5		
座 幅 (肘~肘)	39			40.5			41			39		
座奥行				40								
肘から前座	20			25			25			20		
前座から足台	32.5/35/37.5						33/35.5/38			-		

ご使用にあたって

※室内専用車です。屋外では使用しないでください。

※強い衝撃を与えますと、塗装がはがれますのでご注意ください。

※温泉の泉質によって、長期的にご使用の場合、塗装がはがれるおそれがあります。(機能に問題はありません。)

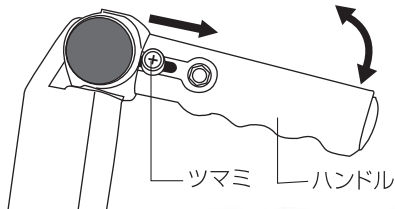
※入浴剤をご使用したお湯をかけると、車輪の回転部などの動きが悪くなる可能性があります。

※お肌の敏感な方は、背シートの上にタオルを敷く等してご使用ください。

※シャワー浴を想定してつくられています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。

ハンドル角度調節の仕方

くるくるチェアII SAL



矢印→の方向にツマミをスライドさせるとハンドル角度が変更されます。

- ・ツマミは、ハンドル内側に左右に2ヶ所あります。
- ・左右のツマミを指でスライドさせながら、ハンドルの角度を変更します。
- ・ツマミを離すと、ハンドルは45°ごとにロックされます。

注意 ※ハンドルの角度を変更した際は、ハンドルのロックがしっかりかかっているか確認してください。



ハンドル角度は 0°、45°、90°の 3段階で調節可能です。
用途に応じて変更してください。

シート回転の仕方

回転機能を利用すると、狭い場所でも容易に洗身できます。

1.『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアII SAL』は、「タイヤストッパーペダル」を踏み、後車輪を固定します。

2.「回転ロックレバー」を踏みながら、シートを回転させます。「回転ロックレバー」を離すと、シートは45度ごとにロックされます。

注意

※回転部分へ手や足を入れないでください。

※下半身に麻痺や変形のある方を乗せて座面を回転させる場合には、タイヤなどに引っかからないように十分注意してください。

※シートを回転させる時は、前輪キャスター、後車輪などに足が当たらない様子を気をつけてゆっくり回転させてください。

※下肢変形で硬直して、足が内側にいく方は注意してください。かかとが当たる可能性があります。

※シートを回転させた後にシートが真横、真後ろになった状態で本体を動かさないでください。本体に不具合がでる可能性があります。

※座面がぐらついたまま使用しないでください。その場合はネジを締めたりせずすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※長時間ご使用された場合に回転部がゆるまないように、出荷時は座面回転を固めに調整していますが、ご利用者を乗せて座面を回転させると、軽く回転致します。

※入浴剤を使用したお湯をかけると、座面回転がしにくくなるおそれがあります。



中心ボルトについてのお願い

- 座面下の中心ボルト (M16) は、お客様で絶対に締めたりゆるめたりしないでください。使用中に破損するおそれがあります。
- 不具合がある場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

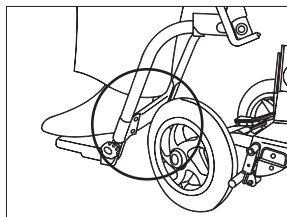
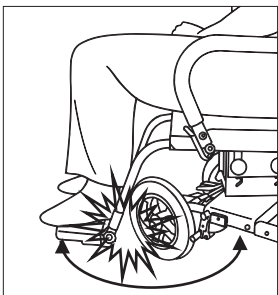


くるくるチェアD

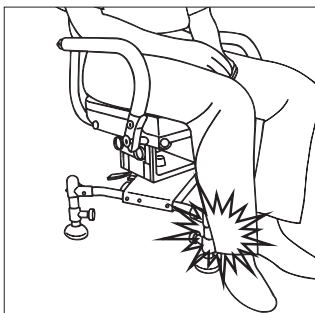
くるくるチェアDSAL

くるくるチェアII SAL

くるくるベンチD



ゆっくり座面を回転させてください。
足がタイヤなどに引っかからないように十分注意してください。



ゆっくり座面を回転させてください。
足が脚部に引っかかったり、内側に巻き込まれないように十分注意をしてください。

足の引っ掛けや巻き込みに注意してください。

車輪固定方法

くるくるチェアD

くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

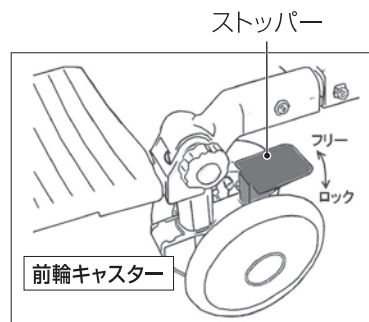
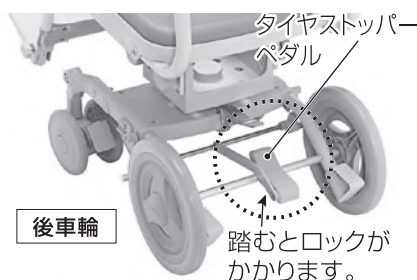
片足で操作できます。

●後車輪

タイヤストッパーはペダルの手前を踏むとロックが掛かり、上に戻すとロックが解除されます。

●前輪キャスター

ストッパーを踏むとロックが掛かり、上に戻すとロックが解除されます。



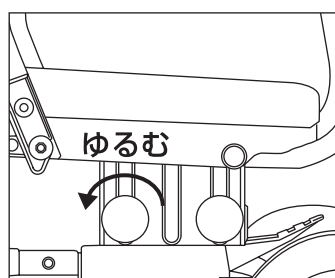
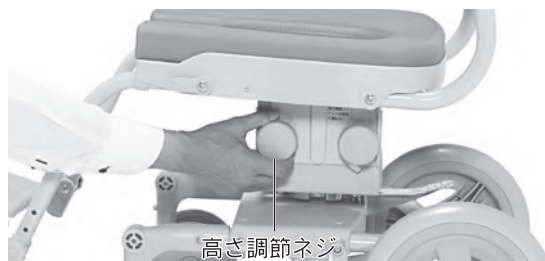
座面の高さ調節の仕方

座面の高さは、5段階(2cm刻み)の調節ができます。

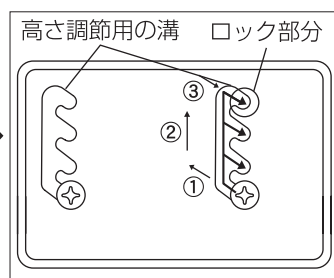
4段階まではスライドで、5段階目はネジを付け替えて調節します。

利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

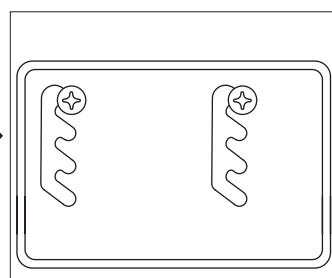
- 1.「高さ調節ネジ」を4本とも取れない程度まで緩めます。
- 2.本体上部を持ち上げて、座面を利用したい高さにスライドして合わせます。
その後、「高さ調節ネジ」をしっかりと締め直します。



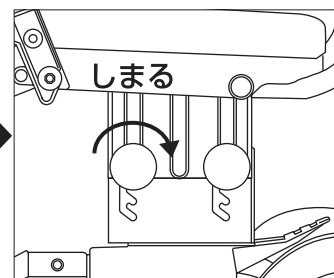
1. 4つのノブナットを取れない程度に十分にゆるめる。
※ ネジをすべて外さないでください。



2. 高さ調節ネジをスライドさせながら利用したい高さに合わせます。



3. お好みの高さが決まりましたら、高さ調節ネジをロック部分に合わせます。



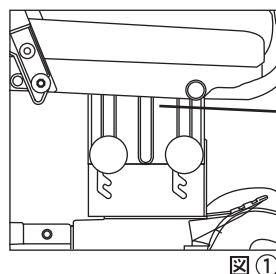
4. +ドライバー(#3)を使用し、4つのノブナットをしっかりと締めてください。(写真①)

5段階目調節方法

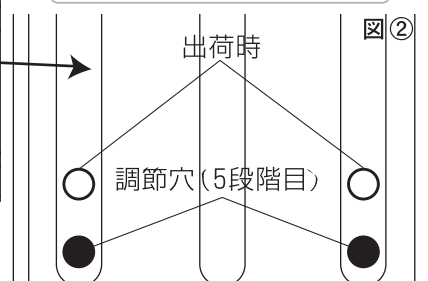
高さ調節ネジを下の調節穴に付け替えると、さらに座面が2cm上がります。

※ネジは1ヶ所ずつ付け替えてください。

1. 座面をスライドし、4段階目まで高さを調節します。(図①)
2. ノブナットを取り外し、座金、スプリングワッシャー、高さ調節ネジを取り外します。
3. 高さ調節ネジを下の調節穴に付け替え(図②)、座金、スプリングワッシャー、座金の順で外側からネジに通し、ノブナットを仮締めします。4ヶ所すべて付け替えてください。
4. もう1段階座面をスライドさせます。
5. +ドライバー(#3)を使用し、4つのノブナットをしっかりと締めてください。(写真①)



高さ調節ネジを抜いた状態



⚠注意

- ※ 高さ調節後は、+ドライバー(#3)を使用し、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
- ※ 高さ調節ネジは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。
座面に傾斜をつけないでください。
- ※ ご利用者が座面に座った状態での高さ調節はできません。
- ※ 高さ調節ネジのゆるみが弱いまま調節を行うと溝が削れる場合があります。

👉「高さ調節ネジ」の締め方

座面の高さ調節を行う際、#3のドライバーを使用して高さ調節ネジを締めてください。
内側のネジ頭の+部分にドライバーを合わせ固定します。固定したまま、外側から高さ調節ネジを回します。



アジャスターの取り扱い方

くるくるベンチD

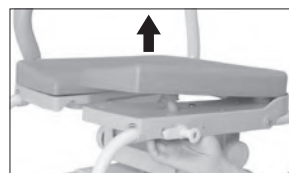
脚部のアジャスターで、約1cmの微調節ができます。床面の凹凸に合わせてご利用ください。

- ⚠注意 ※アジャスターをゆるめすぎないでください。脚部が不安定になり、故障、転倒、けがをすることがあります。

座シートの取り外し方

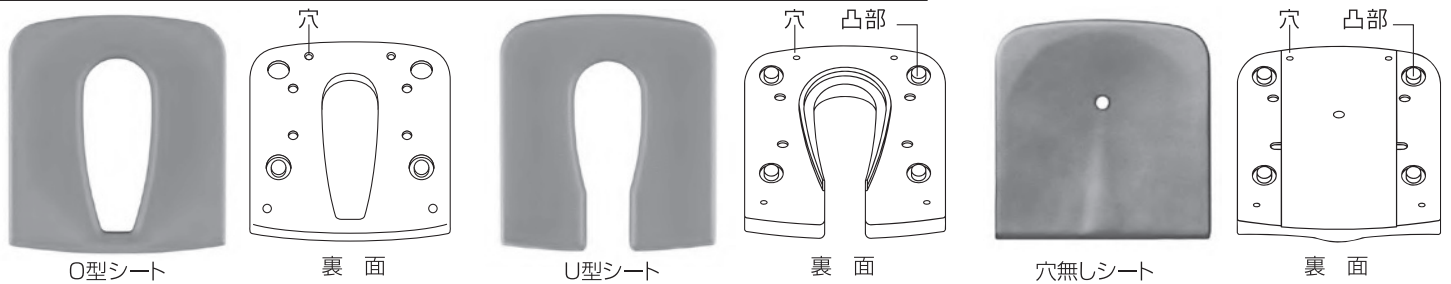
座面の裏側からシートを押して、取り外してください。

- ⚠注意
- ※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ シートを取り外す時は、必ず座面の裏側からシートを押して、取り外してください。
- ※ シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。シートが裂ける場合があります。

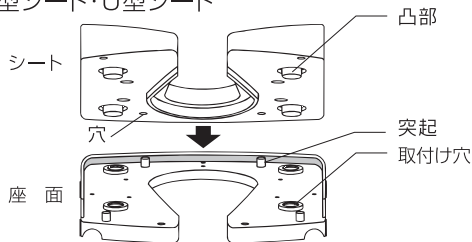


座シートの取り付け方

O型シート、穴無しシート、U型シートは交互に交換してご使用いただけます。



●O型シート・U型シート

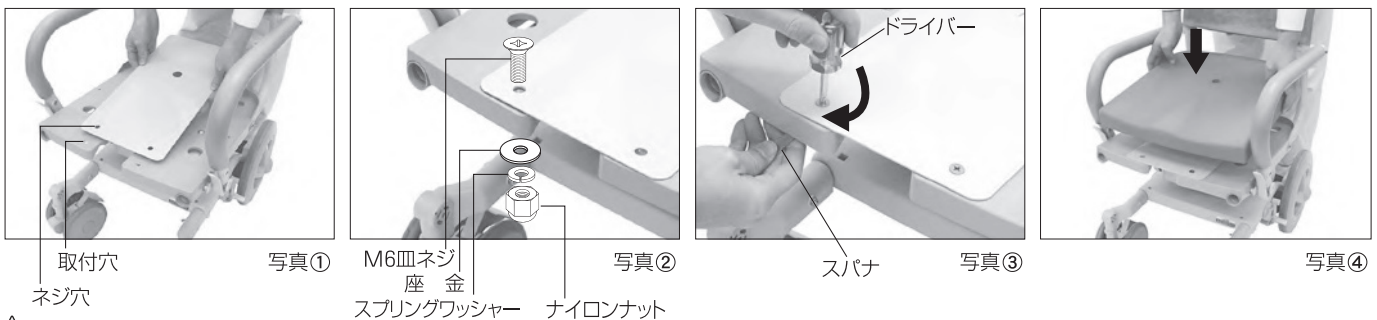
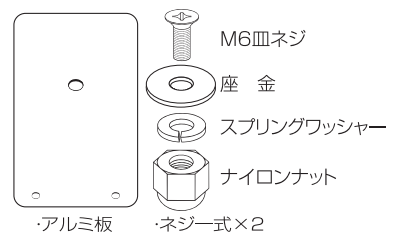


シートを取り付ける際は座面の後方に合わせてから、シート裏面の凸部と穴を座面の取付け穴と突起にそれぞれ合わせてから、上からしっかりと押しつけてください。

●穴無しシート

穴無しシートを取り付ける際は、最初にアルミ板を座受けにネジで固定します。

- 皿ネジを上から通し、裏側から座金、スプリングワッシャーをネジに通してナイロんなットで締め付けてください。(写真②③)
(#3の+ドライバーと#10のスパナを使用して締め付けてください。)
- 穴無しシート裏面の凸部と穴を座面の取付け穴と突起にそれぞれ合わせ、上から押し付けてください。(写真④)



- ⚠ 注意**
- ※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
 - ※ アルミ板が座受けに固定されているか確認してください。
 - ※ シートがしっかりと固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。

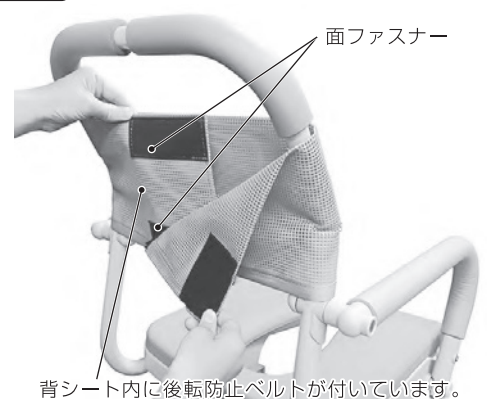
背シートについて

くるくるチェアD くるくるチェアDSAL くるくるベンチD

背シートは面ファスナータイプになります。取り外して、お手入れすることが可能です。また、面ファスナーの接着面をずらすことによって、張り具合を調節できますので、ご利用される方の身体状況に合わせてご使用いただけます。

※調節は3cm以内にしてください。面ファスナーの接着範囲が少なくなると、外れてケガをするおそれがあります。
ご使用時には面ファスナーをしっかりと止めるようにしてください。
面ファスナーの全面をしっかりと貼り付けずに使用すると、外れてケガをするおそれがあります。

- ⚠ 注意**
- ※必要以上に取り外さないでください。安全上、面ファスナーが強力なタイプとなっておりますので、劣化が早くなるおそれがあります。
 - ※背シートは取り外す事ができますが、ご使用時には必ず背シートを取り付けた状態でご使用ください。背シートが無いと後ろに転倒する危険性がございます。
 - ※後転防止ベルトは取り外せません。無理に取り外さないでください。



くるくるチェアISAL

- ・取り外す際は、背もたれの裏側からシート凸部を押して取り外してください。
- ・取り付ける際は、シートの凸部を背もたれの穴に合わせ、上からしっかりと押し付けてください。

- ⚠ 注意**
- ※シートは交換時のみ取り外してください。何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
 - ※シートを取り外す際は、必ず背もたれの裏側からシート凸部を押して取り外してください。
 - ※シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。シートが裂ける場合があります。
 - ※シートが固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。
 - ※シートは消耗品です。汚れがひどい場合や破損した場合はお買い求めの上、交換してください。

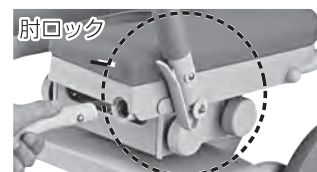


アームレストの取り扱い方

くるくるチェアD

くるくるベンチD

・アームレストは左右ともはね上げ式となっております。
「肘ロック」の上部を押すとロックが解除され、アームレストをはね上げることができます。
アームレストを降ろし、肘掛け受けにはめ込むとロックされます。



1. 肘ロックの上部を押す。



2. ロックを解除する。



3. 上に持ち上げる。

⚠ 注意 ※使用時には必ず「肘ロック」をロックしてください。ロックがされていないとアームレストが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。

※ご利用者を乗せたまま、アームレストを持って移動しないでください。「肘ロック」が破損し、転倒、けがのおそれがあります。

※アームレストをはね上げ・ロックする時は、指や体がはさまれないようにしてください。

※はね上げた肘掛けは後方へ回転しますので、よいかからないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。

※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。「肘ロック」が肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。

くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

・アームレストは左右ともはね上げ式となっております。

1. 支柱パイプにあるロック解除ボタン(図①)を押してロックを解除し、アームレストをはね上げます。

2. はね上げたアームレストを下ろす際は、ロックが掛かるまでしっかり下ろしてください。

※アームレストを上から押すだけでロックは掛かります。

⚠ 注意

※乗車中は、必ず前方グリップを外側に開いてからはね上げ、下ろす操作をしてください。前方グリップを閉じたままはね上げ、下ろす操作をすると使用者に前方グリップが当たります。

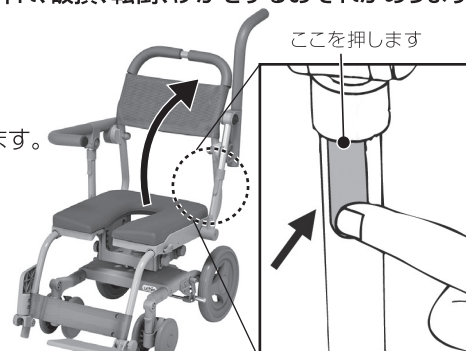
※アームレストをはね上げ、下ろす際に可動するアームレストと本体のすきま(図②)、支柱パイプとアームレスト取付部品とのすきま(図③)、可動する支柱パイプ(図④)などで手や指をはさまないように注意してください。

※はね上げたアームレストを他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

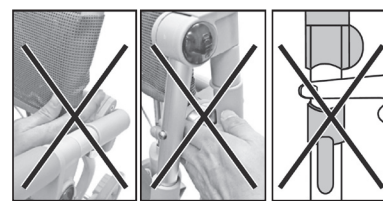
※乗車中は、必ずアームレストを下ろして使用してください。

※使用者を乗せたままアームレストを持って移動しないでください。ロックが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。

※アームレストに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



ロック解除ボタン 図①



図②

図③

図④

前方グリップの取り扱い方

くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

・ご利用の際に握り、安心、安全です。

●前方グリップを開く場合

前方グリップを外側に回転させると開きます。(写真①)
移乗時や体を洗う際にご使用ください。

●前方グリップを閉じる場合

前方グリップを内側に回転させると閉じます。(写真②)
走行中や乗車中に握ってご使用ください。

⚠ 注意

※立ち座りの際は、次の事に注意してください。

・アームレストを内側や外側に回転させるような使用はせず、アームレストを垂直に押すように使用してください。不意にアームレストが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。

・前方グリップの片側だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。また、前方グリップに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。

※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。

※乗車中は、前方グリップを閉じて使用してください。

※乗車中は、前方グリップを持った状態で前のめりにならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。

※前方グリップを無理に引っ張ったり押さないでください。クッションが破損するおそれがあります。

※使用者を乗せたまま前方グリップを持って移動したり、前方グリップをハンドル代わりにして本体を操作しないでください。



写真①



写真②

前輪の浮かせ方

くるくるチェアD

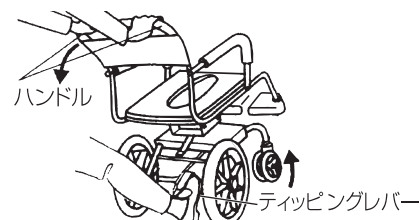
くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

前輪を浮かせることにより、段差を乗り越えることができます。

ティップングレバーに足を当て、ハンドルを少し手前にひきつけるようにすると、前輪を上げることができます。

⚠ 注意 ※10cmを超える段差では使用しないでください。



フットプレートのはね上げ方

くるくるチェアD

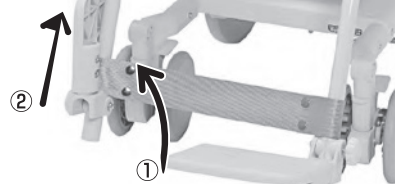
くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させる事ができます。

移乗の際にじゃまになりません。

- ⚠ **注意** 乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。
フットプレートの上ののって乗り降りをすると、転倒、破損の原因となります。



フットプレートの高さ調節の仕方

くるくるチェアD

くるくるチェアDSAL

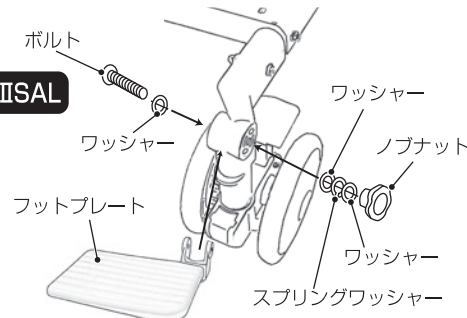
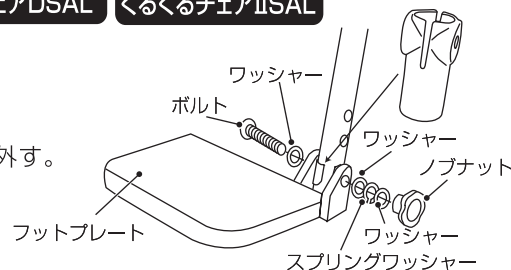
くるくるチェアISAL

フットプレートは3段階の高さ調節ができます。

利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

1. ノブナットをゆるめて外し、ワッシャー（計3枚）、スプリングワッシャー、ボルトを取り外す。
2. 高さを調節し、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

- ⚠ **注意** 左右同じ高さに合わせて調節し、ボルトとノブナットでしっかりと締めてからご使用ください。



短奥行仕様の仕方

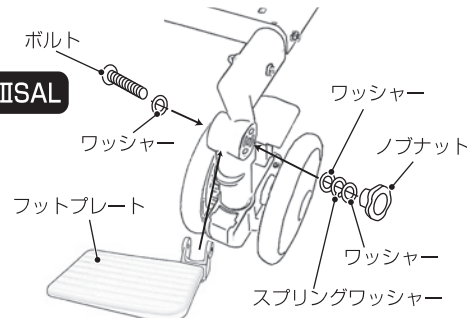
くるくるチェアD

くるくるチェアDSAL

くるくるチェアISAL

フットプレートを前輪上部に付け替えて、奥行きを短くできます。（短奥行仕様）

1. フットプレートをパイプから取り外す。
2. 前輪上部にフットプレートをつけ、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。



フットレストパイプの取り扱い方

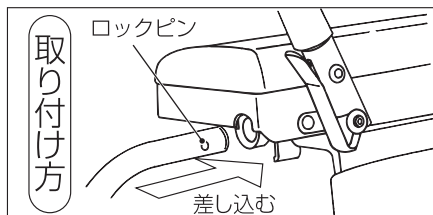
くるくるチェアD

くるくるチェアDSAL

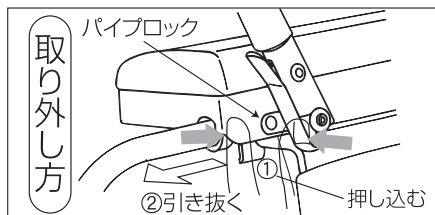
くるくるチェアISAL

フットレストパイプは取り外し可能です。
ご利用方法に合わせて着脱してください。

- ⚠ **注意**
- ※ フットレストパイプの取り付け・取り外しの時には脚ベルトは外してください。
 - ※ フットレストパイプを取り付けた際は、引っ張ってもパイプが抜けないか確認をしてください。



フットレストパイプをカチッと音がするまで差し込んでください。パイプを少し回転させながら差し込む、もしくはロックピンを押しながら差し込むと、入りやすくなります。



①内側と外側にあるパイプロックを指で挟むようにして押し込み、ロックを解除してください。
②押し込んだまま、フットレストパイプを引き抜きます。

脚ベルトの取り扱い方

くるくるチェアD

くるくるチェアDSAL

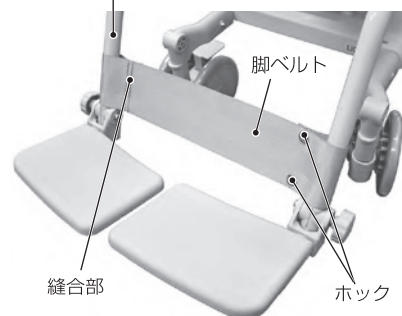
くるくるチェアISAL

脚ベルトは取り外し可能です。

1. ホックを外し、縫合側はフットレストパイプを本体から取り外して、脚ベルトを抜いてください。
 2. 取り付ける際は、縫合側をフットレストパイプに通し、本体に取り付け、反対側のフットレストパイプに巻き、ホックを留めてください。
- ※ 脚ベルトの向きは左右どちらでも取り付け可能です。

- ⚠ **注意**
- ※ シャワーキャリーは、必ず脚ベルトを取り付けた状態でご使用ください。
- 脚ベルトがないと、足が後方にずれて前輪と接触するなど、けがをするおそれがあります。

フットレストパイプ



お手入れ方法

- ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
- ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- 車輪にほこりがつくと、きしむ事があります。その際は、ミシン油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。

- ※ お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
- ※ 塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※ 直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
- ※ 60℃以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が変形、劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※ アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

######

安全上の注意事項

安全のため必ずお守りください

使用上のご注意

- 本製品は全介助が必要な方を対象にした商品です。使用する際は必ず介助者が付き添い、介助者が操作してください。
- 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用（中間浴）はしないでください。
- 硫黄系の入浴剤や温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますのでご注意ください。
- 『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は、10cmを超える段差のあるところでは使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・ 戸外
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 冷暖房器具の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ ストープなど火気の近く
 - ・ 高温多湿、低温な場所
 - ・ 風通しの悪い場所
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合があります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体を持ち上げる際に、ハンドル、アームレスト、前方グリップ、フットレスト、脚ベルトなどを持たないでください。
- ハンドルやアームレスト、前方グリップに重いものを引っ掛けしないでください。転倒するおそれがあります。
- 背シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 座シートを取り付けずに座受けに直接座らないでください。
- 乗り降りされる際は、次のことに注意してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
 - ・ 『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は前輪キャスターと、後輪タイヤをロックしてください。
 - ・ アームレストや前方グリップ、座面の片側だけに手をついたり、アームレストや前方グリップを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。
 - ・ 移乗する際は座面の前端部に荷重を掛けしないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。
 - ・ 『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上ののって乗り降りしないでください。
 - ・ 平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
 - ・ 勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 移乗の際は介助者が利用者をしっかり支えてください。
- 移乗、停車、入浴する際は、前輪と後輪を必ずロックしてください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
- アームレストや前方グリップ、背もたれをななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けしないでください。転倒するおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 脊椎損傷など症状で座位が保てない、左右片方に体が傾く方は、本体が横に倒れるおそれがあります。必ず介助者が付き添ってください。
- ご利用者がハンドルやアームレスト、前方グリップを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は走行中は前方グリップを閉じて使用してください。
- 『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は前方グリップを水平にしたまま立ち上がらないでください。前方グリップが当り、転倒、けがをするおそれがあります。
- 『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は乗車中に前方グリップを水平にしたままアームレストをはね上げ、降ろす操作をしないでください。前方グリップが利用者に当ります。
- 座面やフットプレートの高さ調整後は、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
- 座面高さ調節ねじは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。座面に傾斜を付けしないでください。
- 回転中心ボルト(M16)を絶対に締めたりゆるめたりしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 座面回転操作の時は、『くるくるチェアD』『くるくるチェアDSAL』『くるくるチェアⅡSAL』は必ずタイヤストッパーペダルを踏んで後輪をロックし、本体が動かない事を確認してから操作してください。
- 座面回転操作の時は、かならず回転ロックレバーを踏みながら操作してください。無理に座面回転されると、破損、故障するおそれがあります。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- 前輪キャスターを左右逆に取り付けて使用しないでください。けがをするおそれがあります。
- フットプレートは必ず取り付けで使用してください。
- 走行中は、フットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。
- 1ヶ月に一度は定期点検を実施してください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dashed lines.

ウチワ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL (06) 6482-0230 FAX (06) 6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL (047) 362-0311 FAX (047) 362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL (092) 323-4331 FAX (092) 323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

24.09.V